



霧島市「授業連動型家庭学習」の手引き

霧島市教育委員会では、子どもたちが家庭学習で学んだことを授業設計に位置付けた「授業連動型家庭学習」の実践を通して、学力向上を目指しています。

授 業

授業連動型家庭学習による授業のメリット

【授業者】

- 個の考えを生かした授業設計ができるため、教師による教え込みの授業から、児童生徒が主体となって活動する授業へと転換を図ることができます。
- 家庭で自分の考えを準備してから授業に臨むので、思考力や表現力などの活用力を伸ばす時間を十分に確保することができます。
- 家庭学習は、全ての学年・教科に関わるため、全ての教員が共通テーマとして全校体制で取り組むことができます。

練られた良い授業は、授業の各場面で児童生徒の「あいうえお」が見られます。



「あっ！」…発見, 気付き



「いいね。」…共感, よさ



「う～ん。」…思考, 問い



「えっ!!」…驚き, ずれ



「おお～」…発見, 気付き

家庭学習

授業連動型家庭学習による家庭学習のメリット

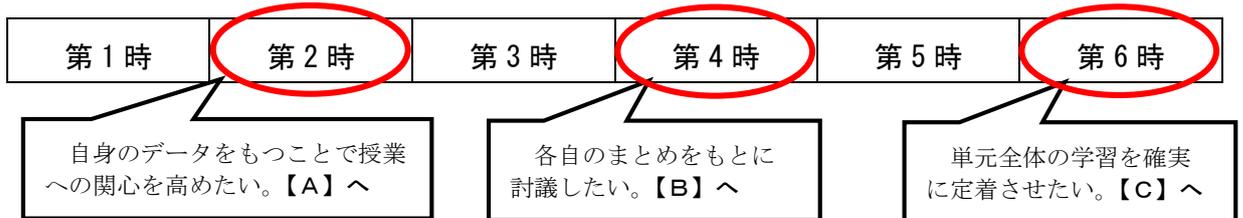
【児童生徒・保護者】

- 次時の授業にワクワクした気持ちで臨むことができ、意欲的な学びの習慣化が期待できます。
- 個人で深める課題に自分のペースで納得できるまで取り組むことができます。
- 家庭をまきこみ、保護者にも授業の様子が伝わることで、学習に対する理解や協力がより得られる効果が期待できます。(子どもの成長を共に喜ぶ)

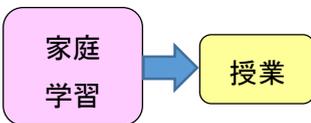
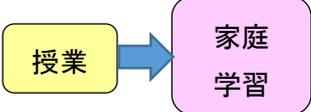
○ はじめに

基礎的・基本的な内容を定着させる家庭学習（例：漢字，計算，英単語・英作文等）も大事にしながら，単元全体を見通して **〔授業連動型家庭学習〕** を効果的に位置付けた単元の指導計画を作成してみましょう。以下の例を参考にして，授業と家庭学習をひとまとめにした教材研究により，児童生徒の頑張りや考えを生かした「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりを目指していきましょう。

例) ○○科 ある単元（全6時間）



○ 〔授業連動型家庭学習〕のイメージは以下のとおり

| 類 型 | 活 動 | 効 果 |
|---|---------------------------------------|--|
| 【A】 P 2 <u>My データ作成型</u> (イメージ)  | 次時の学習内容に関して，自分で調べたり記録したりして準備しておく。 | 家庭学習で一人一人が調べたデータや，まとめた考えを使い，次時の授業で思考させたり，発表させたりすることができます。自分のデータや考えが授業に生かされるため， 主体的な学び につながります。 |
| 【B】 P 3 <u>深化・発展型</u> (イメージ)  | 次時の発表等のために，自分の考えをまとめ，発表に必要な資料をそろえておく。 | 家庭学習で一人一人がじっくり考えた成果物（作文や調査したことのまとめ，解き方等）を授業で発表したり，グループで教え合いをしたりする時間が十分確保できるため， 対話的な学び につながります。 |
| 【C】 P 4・5 <u>既習内容活用型</u> (イメージ)  | 学んだことが確実に身に付いているかを定期的に確認する。 | 理解した内容を保護者や身近な人に説明する活動等は，学んだことを関連付けたり，生活と結び付けたりするなど，高度な思考を必要とするため， 深い学び につながります。 また， <u>かごしま学力向上支援Webシステムの活用問題等を解くこと</u> により，学んだ知識や技能を活用できるレベルに高めます。 |

【A】-① “それぞれが調べたマイデータが、授業で生きる！個が活かされる！”

算数科 小学5年 「比例」

家庭学習

授業で配布した目盛り付きのテープを用い、自宅の浴槽に貼り付け蛇口をひねり、かかった時間とたまった水の量との関係を表にまとめる。

⇒ マイデータをもつ



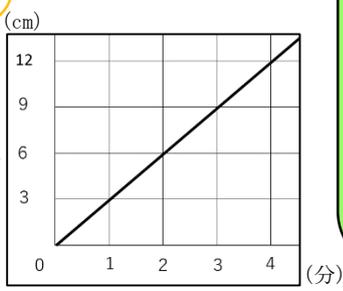
授業

「比例を使った問題」

家庭学習で児童一人一人が表にまとめたデータを用い、「比例関係にある2量」を式やグラフに表したり、1つの量が分かっているときに他方の量を求めたりしながら、比例についての理解を深める。

(児童) うちのお風呂は20分でいっぱいになった。みんなはどうなっているのかな？

| | | | | | | |
|---------|---|---|---|---|----|-----|
| 時間 (分) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | ... |
| 深さ (cm) | 0 | 3 | 6 | 9 | 12 | ... |



(授業者)

データを互いに見比べる時間、じっくり考え、グラフを作成する時間、分かったことを説明し合う時間など、児童主体の時間が授業で20分もとれた！

(児童) みんな調べたデータは違うのに、グラフの形は同じだぞ！

【A】-② “クラス全員のデータが、最高の教科書になる！”

理科 小学4年 「月や星の動き」

家庭学習

観察する場所を決め、星の動き方の観察をする。



授業

観察した結果を発表し、星の動き方について話し合う。

星や星座は、時間が経つと位置は変わるが、並び方は変わらないことを確認させる。

(児童) 星座の並び方は変わらないけど、位置が変わってるぞ。

(授業者) 昼間、学校ではさせられない直接体験が可能になった！

(児童) 方角によって、動き方が違うぞ。

- ・ 太陽や月の動き方の学習を想起させ、星や星座の動き方を予想させる。
- ・ 天候によって観察が左右されるため、土日も入れた期間を設定して取り組ませる。
- ・ 観察の際は、必ず保護者と一緒に観察するなど、安全に留意して取り組ませる。

【B】-① “家庭で時間をかけた分、深い学びの授業が実現！”

国語科 中学1年「トロッコ」芥川 龍之介

授業①

物語の背景と概要を確認し、「心情が表れている言葉」に線を引く。

【全員で確認】

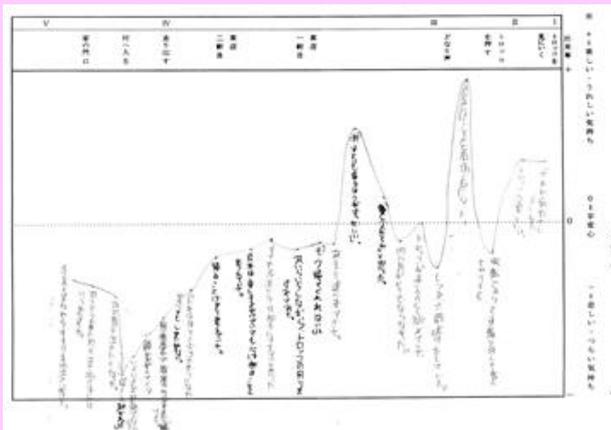
授業②

心情曲線を比較し、「主人公の心が最も+(-)になった瞬間はどの表現か」、「どうしてそう言えるのか」、文章中の言葉を根拠に討議する。

【対話で広げ、深める】

家庭学習 主人公「良平」の心情の変化を、「心情曲線」に表現する。【個で深める】

- 線を引いた「心情が表れている言葉」を、次の視点で位置付け、整理する。
 - ・ 表の中心に引かれた「0」の線は、平常心を表す(+でも-でもない)。
 - ・ 「+ (楽しい, 前向き)」のときは上に点を打つ。最大値は100%
 - ・ 「- (悲しい, 不安など)」のときは下に点を打つ。最大値は100%
- それぞれの点を結んでグラフにし、「自分なりに捉えた良平の心情の変化」を「視覚化」し、授業に備える。



【B】-② “獲得した知識を自己表現に生かす家庭学習！”

英語科 中学2年 表現活動「将来の夢」～生徒の思考の流れに沿った3ステップ課題～

授業①

就きたい職業を題材に、文と文をつなぐ表現を学ぶ。

追究

どの接続詞を使えば文章がスムーズになるかな。

学び合い

友達に教えてもらった接続詞を使えばスムーズにつながるな。

解決

I want to be a teacher **because** I like children. **So** I am going to study hard.

次の課題

自分の職業も接続詞を使えばうまく書けるのでは？

授業②

自分の就きたい職業について友達に分かりやすく伝える。

追究

伝えるときは、しぐさやイントネーションも大切だな。

学び合い

- ・こんなに分かりやすい表現方法もあるのか。
- ・友達の英語らしい発音をまねしてみよう。

解決

自分で書いて練習したスピーチがこんなに良くなった。

発表

家庭学習

接続詞を用いて、自分の就きたい職業について書く。

- ・どういう表現を使って具体的にしようかな。
- ・接続詞の前と後ろのつながりはいいかな。

(生徒の例)

I want to be a black vinegar maker **because** I like to drink it. **If** I become a black vinegar maker, I can make many people healthy. **So** I am going to study the history of black vinegar.

【C】-③ “学んだその日のうちに、確実な定着を目指す！”

「復習の行動手順」と「続けるための行動手順」を知る家庭学習

その日の授業で習ったことをその日のうちに振り返るために

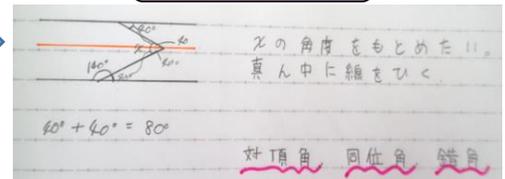
- 【方法】 ① 以下の内容のように、「思い出し」と「書き出し」を毎日の家庭学習にパターン化する。
② パターン化された家庭学習を常に意識しながら授業に臨む。

【内容】

何も見ずに(10分) : 思い出し

ノートの上部は、その日の授業の様子を先生の話や自分の考え、友人の発表、印象に残る言葉等、できるだけ書くことが大切。

思い出し(例)

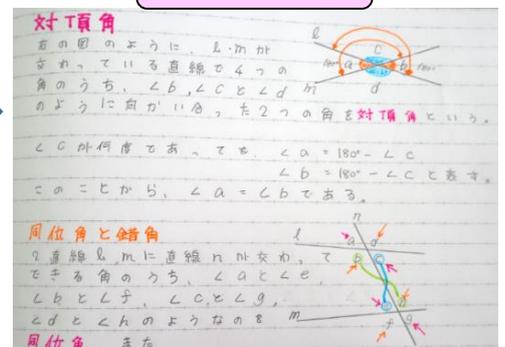


ポイントをまとめる(30分) : 書き出し

ノートの下部は、教科書や授業用ノート等を見直して、[分かったこと・できるようになったこと]を意識して書くことが大切。

※ この「書き出し」を実現させるために、授業者は本時で何を学ばせたいかを明確にして授業時間で完結させる。

書き出し(例)



◎ この手法は、どの教科でも取り入れることができます。

◎ **授業の一番大切な内容を家庭でアウトプットさせる方法です。**

○ 校内研修等で【家庭学習】について話し合ってみましょう。

☆ 話し合いの目的

1 学習内容の確実な定着を目指す家庭学習の在り方を全職員で追究する。

⇒ 家庭学習の具体的な事例を互いに持ち寄って発表し合い、児童生徒が意欲的に家庭学習に取り組み、次時の授業にワクワクした気持ちで臨むことができる効果的な家庭学習を、学年や教科の枠を越えて全職員で工夫しましょう。

2 「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりを全職員で追究する。

⇒ 「授業連動型家庭学習」を授業づくりの核に据え、その実践により授業にどのような変容があったのかを検証することで、「主体的・対話的で深い学び」の「あいうえお」が見られる授業を目指しましょう。

○ もっとたくさんの【授業連動型家庭学習】実践例を参考にしてみよう。

QRコードはこちら

